

## 保護手袋着用



商品を取り出すとき、施工するときは、切断面に触れると手を切る恐れがありますので注意してください。

(公財)日本住宅・木材技術センター 性能認定品  
SB2-10A16-01  
短期許容引張耐力 11.9kN

## ■使用上のご注意

パイプ羽子板かくれんぼの使用にあたっては、必ず本マニュアルに基づいて施工してください。パイプ羽子板かくれんぼは指定の用途以外には使用しないでください。

## 使用箇所・用途

小屋梁と軒桁、胴差と梁の接合に使用します。

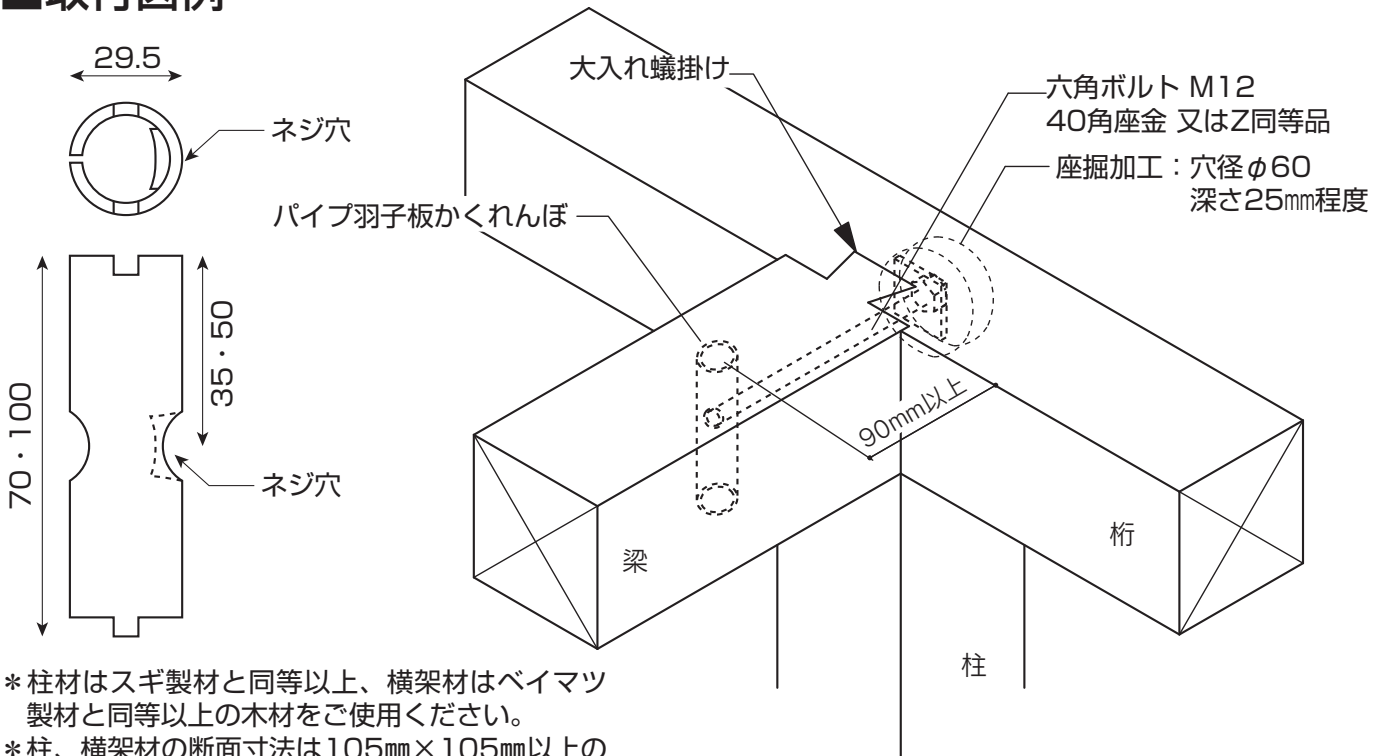
## 接合具

六角ボルトM12……………1本（別売）  
Z40角座金又は、同等品…1枚（別売）

## 施工方法

1. 金物を埋め込む穴は、梁材に対して桁材の面から90mm以上の位置にφ30mmの穴を金物の長さL（70mm、100mm）より10mm以上多く掘り下げてください。
2. ボルト穴を桁材から梁材に向かって梁材と水平に、金物を差し込むφ30mmの穴まで貫通させてください。必要に応じて座掘加工をしてください。
3. 金物をφ30mmの穴に差し込み、ボルト穴位置と金物ネジ穴を合わせてください。その際には、もう一つの金物本体のツメなどを使って調整してください。  
※金物本体を埋め込みすぎないように注意してください。
4. 桁材側から座金を介して六角ボルトM12で締め付けてください。

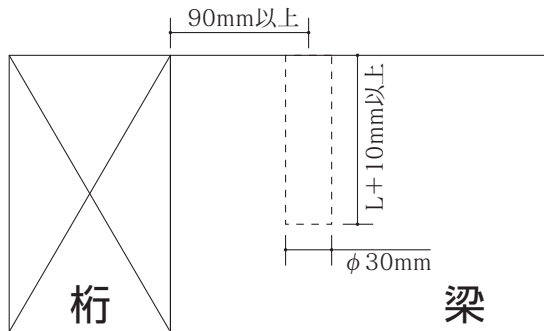
## ■取付図例



\* 柱材はスギ製材と同等以上、横架材はベイマツ製材と同等以上の木材をご使用ください。  
\* 柱、横架材の断面寸法は105mm×105mm以上の木材をご使用ください。

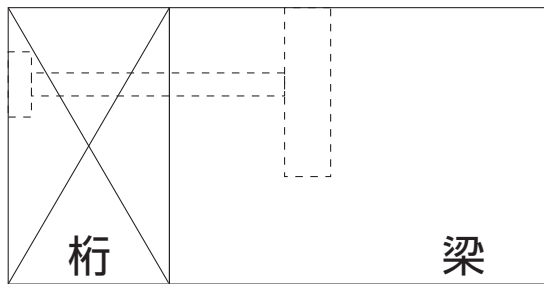
# 取付作業手順

## 1



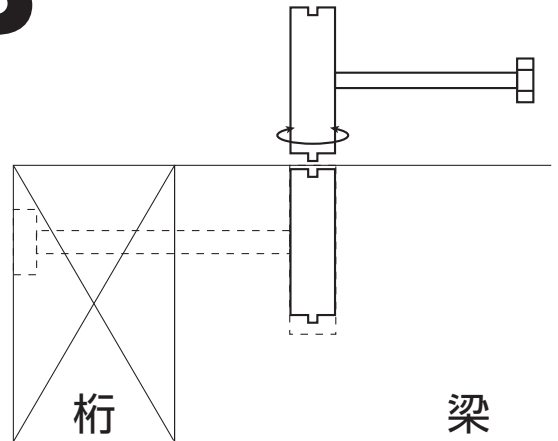
①金物を埋め込む穴は、梁材に対して桁材の面から90mm以上の位置に $\phi 30\text{mm}$ の穴を金物の長さL(70mm、100mm)より10mm以上多く掘り下げてください。

## 2



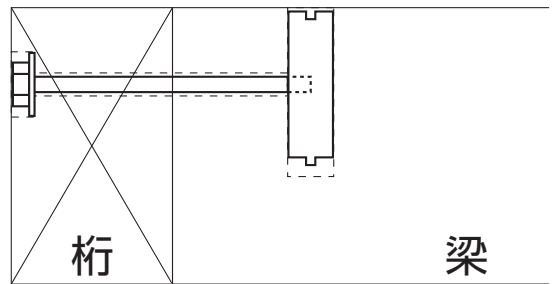
②ボルト穴を桁材から梁材に向かって梁材と水平に、金物を差し込む $\phi 30\text{mm}$ の穴まで貫通させてください。必要に応じて座掘加工をしてください。

## 3



③金物を $\phi 30\text{mm}$ の穴に差し込み、ボルト穴位置と金物ネジ穴を合わせてください。その際には、もう一つの金物本体のツメなどを使って調整してください。

## 4



④桁材側から座金を介して六角ボルトM12で締め付けてください。

接合金物の使用方法や納まりなど木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで



株式会社 タナカ

(連絡先) CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313  
(受付時間) 平日 9:00-17:00  
<https://www.tanakanet.co.jp/housing>